

実施学年	3年	実施教科 (科目)	社会	実施日	H24. 10. 03
単元名	店ではたらく人				
本時の内容 (項目)	見学で見つけてきたお店の工夫や苦勞をみんなに発表する。				
本時の目標	見学で見つけてきたお店ではたらく人の工夫や苦勞を、なぜそのような工夫や苦勞をしているのかを明らかにしながら、わかりやすく発表することができる。				
授業場所	3年2組 教室	ICT活用時の 授業形態	一斉学習・個別学習・グループ学習		
ICT活用場面	導入・展開・まとめ・他()		ICTの主な 活用者	教師・生徒	
活用するICT 機器	電子黒板・デジタルビデオカメラ				
ICTを活用する 目的・ねらい・予想される 効果	児童が実際に見学してきたスーパーではたらく人の工夫や苦勞を、電子黒板上に表示される写真や図、動画などを使って発表する。わかりやすく発表するための手段として、電子黒板を使用する。児童の話す力をのばすねらいもある。 店長の話動画を聞くことで、文章よりもより視覚に訴える教材として使用する。				
児童生徒の情報活用能力を 育てる指導場面・指導内容	発表時、自分の考えの根拠として、画像や動画を示し、わかりやすく発表する手段として電子黒板を使用する。情報機器の操作の仕方や、自分の発表内容から効果的な情報機器の使い方を考える。 動画から必要な情報を読み取る力を育てる。				
利用するコンテンツ名・サイト等	特になし				
参考にしたサイト・文献等	・パワーズ船町店ホームページ				
事前の準備	① 見学に行ったとき、児童が要望したもの、発表で使われると考えられるものの写真や動画を記録しておき、児童の発表用として保存しておく。 ② 電子黒板の使い方を、「店ではたらく人」の導入で、ある程度児童に伝える。または体験させる。 ③ 店長のインタビュー動画を用意する。				

指導計画（授業の展開）	<p>1 課題を確認する。 <u>店ではたらく人は、どのような安さの工夫をしているだろう。</u></p> <p>2 安さに注目して見学してきたグループが発表する。 ・発表を聞きながら、気づいたことをメモする。 ・発表する班は、電子黒板を使いながら発表する。</p> <p>3 店長さんの話を聞いて、お店ではたらく人のサービスの工夫について深く知る。 <u>深</u>「このように4時からタイムサービスしているんだけどどうして4時からだと思う？」 ・自分なりの考えを発表する。 ・店長さんのインタビュー動画をみて、店ではたらく人の安さの工夫について知る。</p> <p>4 まとめをする。 ・まとめを書く。 ・まとめを発表する。</p>	<p>（※情報モラルの指導内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子黒板をわかりやすく考えを伝える手段として効果的に使えるよう助言する。
ICTを活用した授業時の教師側（指導上）の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 自分の発表内容から、効果的な情報機器の使い方を考えるように指導する。 児童が電子黒板を使う目的をしっかりと理解して臨むために、一学期の単元から電子黒板に触れさせ、電子黒板に慣れさせた。二学期の「店ではたらく人」の単元で、発表をわかりやすくするための手段の一つとして使わせるように単元計画を行った。 店長のインタビュー動画には、テロップを用意し文字による情報伝達も行う。 	
ICTを活用した授業時の児童生徒の反応	<p>授業後</p> <p>自分の発表内容を分かりやすくするという目的で使ったので、どんな機能を使おうかともわくわくして取り組んでいた。また、発表を聞く児童も、どのように説明するか、どのような機能を使うのか興味津々に聞いていた。</p>	
ICTを活用した授業後の評価（実践の手応え）	<p>授業後</p> <ul style="list-style-type: none"> ○説明する上で、分かりやすく伝えるための手段として電子黒板を使用したことは、話そうとする意欲が強くなった。 ○映像や画像などを使って説明する意欲が強くなった。自分の話の根拠を示しながら話す姿が多く見られるようになった。 	
今後の課題	<p>授業後</p> <p>ICTは使う意味を明確に持っていないとただ使っただけになってしまう。今回は発表を分かりやすく伝えるための手段として使用したが、電子黒板の利点である「児童の考えの足跡が保存できる」点をもっと活用する授業を考える必要がある。</p>	

※情報モラルを指導したときは、その指導事項及び指導内容を記入する。